

第八回十二指腸癌診療ガイドライン作成委員会議事録

2020年12月11日(金)18時00分～18時30分

於:Zoom オンライン会議

出席者

庄, 牛久, 藤城, 本間, 青山, 角嶋, 樋口, 布部, 岡田, 井口, 山本, 金高, 堀松, 江島, 永川, 加藤, 黒田, 赤堀(奈良医大事務担当), 中川(奈良医大事務担当)

(順不同, 敬称略)

欠席者

小寺, 山上, 山下, 金治, 室, 成田, 藤井, 山田, 浦岡, 江口

(順不同, 敬称略)

議題

1 ガイドライン作成

1.1 診断/治療アルゴリズム作成

- ・事前配布した診断/治療アルゴリズム(案)をもとに討議.
- ・診断アルゴリズムについては特に変更無し.
- ・治療アルゴリズムについて.

「内視鏡治療にて pT1, VM(+), or ly/v(+)の際に追加切除として膵頭十二指腸切除術+リンパ節郭清を行う」というアルゴリズム(添付 囲み部)が妥当であるかどうかという意見. 診断/内視鏡治療 CQ6-1(粘膜下層癌, 脈管侵襲症例では追加手術を行うことを弱く推奨する.)と外科治療 CQ2(粘膜下層以深の十二指腸癌では, 膵頭十二指腸切除術以外の術式を行わないことを弱く推奨する.)をもとに作成されたアルゴリズムであるが, エビデンスレベルが低い中で術式まで指定することに対する懸念. それに対して, 「原則として」や「外科切除」という文言の追加や変更という意見もあった. ただし, 「外科切除」と記載した場合は, 同アルゴリズム内の「十二指腸局所切除術」との整合性がとれなくなってしまうことが危惧される.

→推奨投票時の議論の際も, 委員の中でも意見が分かれるところではあったが, 投票結果・議論の過程を重視し, ガイドライン委員会の意見を集約した総意として, パブリックコメントを募る方針とする. パブリックコメントの結果によっては文言の変更や追記を検討する.

1.2 今後の予定:作成・出版スケジュールについて

- ・出版社:金原出版の予定
- (～12月)【委員会】12月原稿完成→【編集部】
- (～1月末)【編集部】文章の校正, 文献スタイル統一等の「原稿整理」作業
- (2月中)【委員会】上記原稿をPDF化し, HP上でパブリックコメント募集
- (3月中)【委員会】パブリックコメントを受けて原稿修正
- (4月上旬)【委員会】修正後の原稿を【編集部】へ入稿
- (～5月末)【編集部】校正紙作成→【委員会】著者校正
- (～6月末)【委員会】著者校正→【編集部】へ
- (7月中)【編集部】著者校正を校正紙に反映, 【委員会】必要に応じて再校正
- (7～8月)【委員会・編集部】校正終了(校了)→印刷・製本

パブリックコメントの結果によっては、原稿修正前の委員会開催や、原稿修正期間短縮の可能性。

1.3 外部評価(パブリックコメント)について

- ・2021年2月頃にパブリックコメント募集(2週間の予定)
- ・前回会議で挙げられた学会と薬物治療グループ事後協議で提案された以下の学会・研究会 HP にパブリックコメント募集の掲載を依頼する。
- ・各委員に掲載依頼交渉を行って頂く。

日本胃癌学会:小寺統括委員

日本肝胆膵外科学会:山上統括委員, 庄委員長

日本消化器内視鏡学会:藤城委員

日本放射線腫瘍学会:江島委員

大腸癌研究会:室委員, 堀松委員

2 全国調査

2.1 全国調査報告

- ・診断/内視鏡治療グループ, 外科治療グループそれぞれでシステマティックレビュー論文が Accept. 外科治療グループ全国調査は論文投稿中。

3 その他

3.1 進捗を随時事務局より報告予定。

添付:治療アルゴリズム(案)

